



**南高**  
進路だより

**律・啓・創**  
HOP! STEP! JUMP!

4 冊 号

令和2年4月9日  
福島南高・進路指導部

#### 4月の行事予定

8日(水) 着任式・始業式・入学式  
9日(木) 対面式・生徒会オリエンテーション  
進路希望調査① 第1回服装頭髪指導  
2年スタディーサポート  
10日(金) 写真撮影(2・3年)  
13日(月) 写真撮影  
14日(火) 第1回交通安全指導  
生徒委員会編成  
15日(水) 尿検査(1回目)  
身体測定(6・7校時)  
16日(木) 心電図・結核検診 部活動編成  
制服着こなし講座(1年) 小論文(3年)

21日(火) 歯科検診(3年)  
22日(水) 歯科検診(2年)  
23日(木) 歯科検診(1年)  
i - c h e c k (1・2年)  
小論文模試(3年)  
25日(土) 父母と教師の会総会 月曜日の授業  
27日(月) 4/25の振替休日  
29日(水) 昭和の日  
30日(木) 水曜日の授業  
尿検査(2回目)



**共通テスト 1月16日まで**  
・・・あと**282日**

**就職試験開始9月16日まで**  
・・・あと**160日**

### ☆入学・進級おめでとう！充実した1年を送るためのスタートダッシュを・・・☆

昨年度末は、突然の休校がありすっきりしない状態での年度終了になってしまいましたが、新しい年度がスタートしました。見えない恐怖との戦いは続きますが、手洗い、換気、接触等対策に気を配りながらやるべきこと、やれることはしっかりやって充実した高校生活を送りましょう。緊急状態に対して冷静に対処することは、人間力を向上させる良い機会です。ピンチをチャンスに変えていきましょう。

#### 1年生へ

高校生活のスタートです。1日も早く高校生活に慣れて、一流の高校生になって下さい。いろいろな面で中学校とのギャップを感じるとは思いますが、それぞれの目標を見失わずに日々の高校生活を送れるように習慣付け、基礎固めをして下さい。福島南高校では、皆さんが目標としているどんな進路に対しても対応できる準備を整えて皆さんを迎えています。その機会を遠慮せずに存分に使って下さい。1年生でどれだけのことのできたかでその後の進路の選択の幅を大きく左右します。「高校での学びの基礎」をしっかり身に付けて下さい。

#### 2年生へ

高校の学習・生活でキーポイントとなる学年が始まりました。1年間の高校生活でうまくいったこと、うまくいかなかったことなどいろいろとあったと思いますが、振り返って自分を見つめレベルアップと軌道修正をして下さい。授業で学習する内容でいえば、ほとんどの内容は2年生までで学習することが中心になってきます。ここでしっかり力をつけておけば進路選択をするときに非常に有利になります。力不足や内容不足により不本意な選択にならないために、「高校での学びの質の向上」ができる1年にして下さい。

#### 3年生へ

いよいよ高校の最終学年です。2年間蓄えてきた学びをエネルギーにして悔いのない進路選択に役立てて下さい。ある程度の基礎はできているはずなので、それぞれの進路目標に向けてさらに掘り下げて下さい。進学にせよ就職にせよ自分の得意な部分を伸ばし、不得意な部分は投げ出さずに補って下さい。得意な部分はそれぞれの武器・個性になり、克服した不得意な部分は人間としての幅を広げてくれます。その両輪がどんな状況に対しても対応できる生きる力になります。「高校での学びの総まとめ」を妥協せず取り組む1年にして下さい。

## ◎今年度の進路予想

### 進学について

昨年秋ごろからいろいろと突然の変更があり、当初予定していた入試制度の変更から比べると変更内容は小さくなりましたが、センター試験は「太学入試共通テスト」に、推薦入試、AO入試も「学校推薦型入試」、「総合型選抜」に変わります。そのため、予想がつけにくく不安な状況での戦いになります。どんな状況でも高校で学んだことをしっかり身に付けておけば問題はないのですが、今までよりも高い水準の能力が要求されると思います。大学入試共通テストの問題の出題方針は、センター試験よりさらに深い内容を出題する方針です。最後のセンター試験だった今年の問題にはそれを暗示する出題が目立ちました。また、一昨年ごろから私立大学の難易度が底上げされる傾向にあり、滑り止めと思っての安易な気持ちでは合格は難しいところが増えています。推薦入試の時期は少し遅くなるので日程や受験計画をより計画的に行っていかななくてはなりません。「不透明で厳しい入試」になると思います。

### 就職について

ここ数年は就職戦線は求人数が多く恵まれた状況でしたが、コロナウイルスの感染拡大により暗雲が立ち込めてきているように思われます。経営状況の悪化により採用内定しても内定を取り消したり、入社時期を遅らせる企業を耳にします。経済動向は一寸先は闇で状況は一変し、先のことを予想するのはとても難しいです。ただ、不要不急の行動、集会、イベントなどの自粛要請が出ている現状で、サービス業関連への悪影響は目に見えており、そのことは経済活動全体に波及してくると思われます。そうなると当然求人数は減少すると考えられます。結果、「今までより厳しい就職活動」になると予想されます。また、理想と現実のミスマッチによる早期の離職も気になるところです。進学すること以上に「厳しい世界に飛び込んで行く」ことを自覚して選択、心構えをしていかなければなりません。公務員は、試験対策をしっかりして行って下さい。不安定な経済状況の時は公務員人気が高まり、競争倍率が高まる傾向にあります。

## < 3 学年の課外 スタートします >

### ①公務員課外

- ・教養試験対策講座

実施日：4/13、5/1・8・22、6/5・19・29、7/20・21・22

- ・適性試験練習会（朝課外）

場所：情報棟簿記室

実施日・時間 4月16日（木）～9月4日（金） 7：40～8：10



### ②前期平常課外

実施期間：4月17日（金）～7月16日（木）

実施曜日時間：月・金（15：40～16：50）、水（16：50～18：00） 70分間

講座	担当	内容
現代文	前田・渡邊	入試に向けた評論読解演習
古典	伊藤	入試に向けた読解演習（前半：古文 後半：漢文）
数学 I A	吉田・佐藤・古川	基本から標準レベルの入試問題演習
英語	豊口・浦山・吉田	入試に向けた動詞の語法・文法対策
化学	木村	前期は無機物質（総学と連携）
化学基礎	斎藤	共通テスト8割以上、医療系進学に対応した実力をつけます。
物理・物理基礎	菅野	物理基礎の波・電気の問題演習。専門物理にも関連します。
生物・生物基礎	引地	生物基礎と専門生物の重複分野の問題演
地理 B	高橋	自然分野の復習と受験対策 「地形と気候」

## 【福島南高校 2019（令和元）年度卒業生進路状況】

4月8日現在

**国公立大学合格 20名**

**私立大学 142名** (延べ数)

**短期大学 合格 14名** (延べ数)

**医療系専門学校 合格 10名** (延べ数)

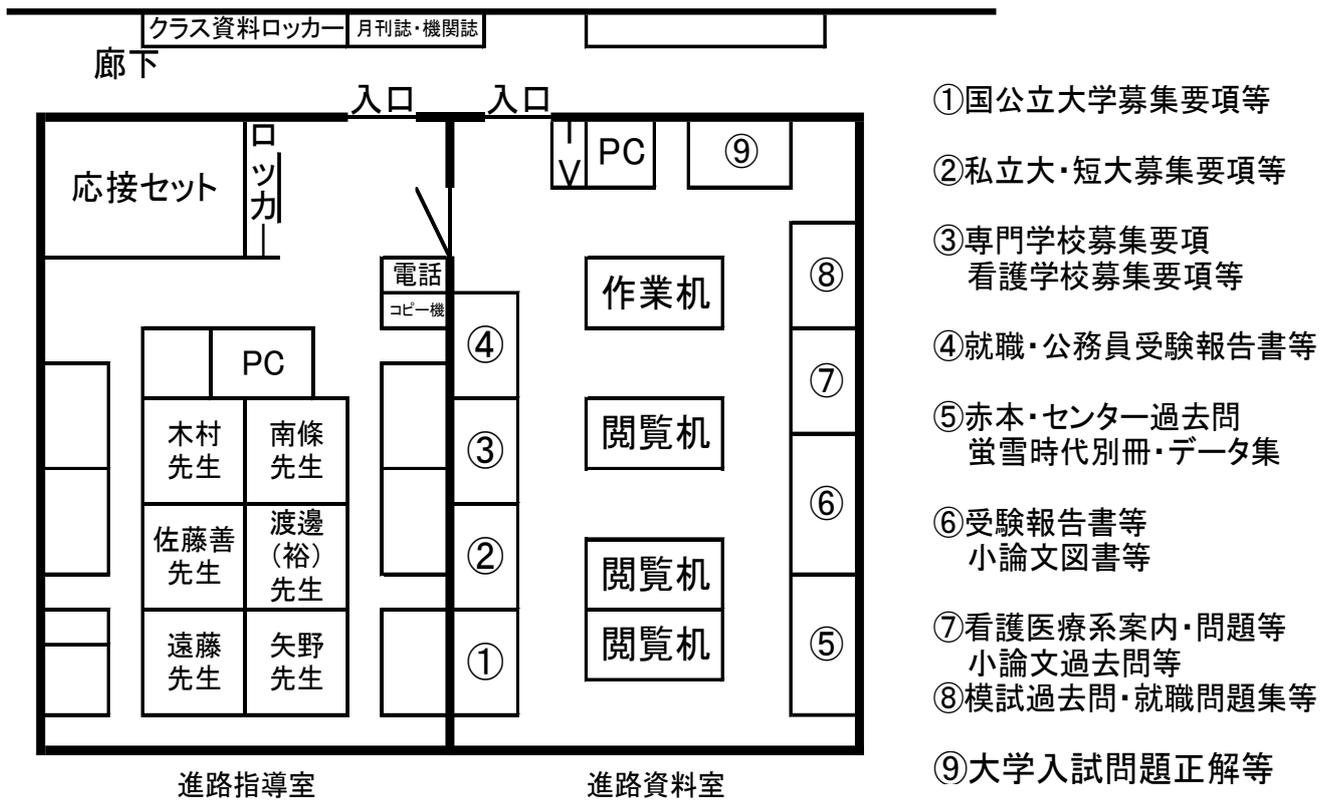


**専門学校(医療系以外) 合格 35名** (延べ数)

**公務員 合格 13名** (延べ数)

**一般企業 24名 就職率 100%達成**

**進路室・進路資料室の利用について**



**◆進路資料室の利用時間**

利用するには必ず進路室の先生に断ってから入室すること。利用時間は、朝は朝学習が始まる8:15まで。昼休みは12:25~13:05。放課後は18:50までです。休み時間も利用できますが、授業には遅れないようにすること。また進路資料室は、会議等がある場合は使用できません。

**◆進路室への入室**

身だしなみを整えてから「失礼します。〇年〇組の〇〇です。〇〇(用件を述べる)で参りました。」と元気づく挨拶し、許可を得てから入室すること。進路室には進学(大学や専門学校)・就職(企業)関係のお客様が数多くいらっしゃいます。外部の方が福島南高校生の姿を見てどんな学校か想像するわけです。

**◆進路資料室の資料・本・雑誌等の貸し出し**

進路室にある貸し出し簿に必要事項を記入して、進路室の先生に許可のサインをもらうこと。返却の際もサインが必要です。貸し出しは1泊2日ですが、週末に借りた場合は翌週の最初の登校日に返却すること。

**◆受験報告書や求人票、赤本等のコピー**

進路資料室のものは進路室でコピーできます。(1枚10円。コピー機生徒使用簿に必要事項を記入する。授業等のノートのコピーは不可)

## ◆進路資料室利用時の注意事項

利用した本や資料は元の場所に戻すこと。手荷物を持って入室しても良いが、貴重品の管理をすること。飲食は禁止です。

## ◎進路室スタッフからのメッセージ

佐藤善範（進学、就職 数学）

進路目標を達成するためには、自分で動いて進路に関する情報収集をすることが必要不可欠です。進路室には南高校の生徒にとって幅広い有益な生で旬な情報がそろっています。まめに進路室に通って、資料を見たり、いろいろな先生と話をしたりして進路について深く考えて進路選択、進路決定のために役立ててください。勉強場所として使ってもらってもかまいません。卒業した先輩達を見ていると、足繁く進路室に来ていた先輩は良い結果を残せているようですよ。進路室を上手に使って目標達成に結び付けましょう！

矢野亮（就職 商業）

民間就職担当2年目になります。昨年は多くの企業から「南高の卒業生が素晴らしいので、また南高から採用したい」と言っていただきました。今年はコロナウィルスの感染拡大の影響を受け、厳しい就職活動が予想されますが、進学も含め進路は自分一人で達成するものではありません。卒業生、教員、保護者、友人など多くの人の協力を得ながら進路目標に向かっていくということを忘れないでください。皆さんのこれからの頑張りを応援しています。

木村文雄（進学 理科）

今年度より進路指導室常駐で主に進学の方を担当することとなりました。十人十色の進路実現への道が少しでも拓けていけるように皆さんとともに開拓できれば、歩んでいければと思っております。

このような世の中の情勢ですから突然さまざまな変化が起こりうるものと覚悟しています。今うまくいかなくとも近い将来よい結果につながると信じて、焦ることなく、お互い勉強に部活動に頑張ってください。この1年間をストイックに過ごし、最も苦しく、最も楽しく、最も輝ける1年にしてください。

渡邊裕子（進学 国語）

今年度、南高に着任しました。まだ分からないことがたくさんありますが、一日も早く南高に慣れ、皆さんの進路実現のために力になりたいと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

進路実現は短期決戦ではありません。毎日の努力の積み重ねが最も重要です。目標を明確にし、その目標を達成するために必要な力は何かを、冷静に考えてみることから始めましょう。特に3年生の皆さんは、この1年間をストイックに過ごし、最も苦しく、最も楽しく、最も輝ける1年にしてください。

遠藤弘康（就職 商業）

公務員を担当します。公務員選択者は就職試験・その他の進路活動にかなり制約が出ますので、進路選択は保護者の方とよく相談して決めてください。これまでも実施してきた校内での課外や校外でのセミナーに加え、新学期早々から朝の課外も始まります。今年度も多数の合格者が出るよう、一緒に頑張ってください。

南條かおる（進学 英語）

1・2年生の総英、2・3年生のフランス語を担当します。今年はセンター試験に替わる共通試験が始まることや、社会状況が今後どのように変化していくのか、いろいろ不安な要素の多い1年となります。今こそ自分で考える力、巷にあふれる情報を読み解く力が求められます。教科の学習やさまざまな活動も、結局はそのためのものなのです。それぞれの学年の皆さんが、充実した1年間を送れるよう、進路指導部はいつでも皆さんのサポートをしていきますので、気軽に利用してください。

## ◎進路の1年の流れを知ろう

1年間の進路関係の一部行事等を掲示します。下記の予定を参考にして各自早めの準備、行動をしておきましょう。やってもらったことを受け身で処理するのではなく、自主的、積極的に行動することが大切です。

	3年	2年	1年
4月	進路希望調査 平常、朝等課外開始	進路希望調査 スタディーサポート	進路希望調査 学びみらいパス
5月	二者面談 就職ガイダンス	二者面談	二者面談 科目選択ガイダンス
6月	志願理由書サポート講座	模試	模試 科目登録確認
7月	求人票受付開始 小論文ガイダンス 三者面談 夏季課外	オープンキャンパス見学 夏季課外	オープンキャンパス見学 夏季課外
8月	夏季課外 第1回推薦会議	模試	
9月	共通テストガイダンス 就職試験開始		福島大学訪問
10月	共通テスト出願	学びの森	学びの森
11月		文理科サイエンスセミナー	文理科サイエンスセミナー
12月	合格、内定者指導 冬季課外	進路後援会 冬季課外	冬季課外
1月	共通テスト 一般入試出願	模試	模試
2月	一般入試	小論文後援会	小論文後援会
3月	中期、後期試験 合格体験を聞く会	合格体験を聞く会	合格体験を聞く会

\* 3年生は毎月のように各種模試があります。

## 学ぶことを考えて下さい！（1年生）

まずは入学おめでとう。君たちの原点は、**福島南高校で「学ぶ」ことを自ら選んだことです**。最激戦の入試を勝ち抜いたのだから、そのことを卒業式を迎えるまで絶対忘れないように。この3年間で、様々なことを経験することになる。いろいろな出会いが待っている。その中で、今までの人生では感じたことのないような感動を味わうこともある。その時、今まで知らなかった**新たな「自分」**を発見することになる。それが未来の自分自身につながるだろう。そのために、「**学び**」をとことん追求してほしい。「**学び**」、あるいは「**学ぶ**」とはいったい何だろうか？ 入学にあたって、「**学ぶとは誠実を胸に刻むこと**」というフランスの詩人ルイ＝アラゴンの一節を贈ります。「知識を増やすこと」「技術を身に着けること」「資格を得ること」、これらはとても重要なことです。しかし、これらはあくまでも学びの結果です。学びにはプロセスがあり、これもまた重要なことなのです。「誠実」とはどんなことなのか？「知的な誠実さ」は学びの質と量を規定します。知的な誠実さの対極にあるのが「知的な傲慢さ」「知的な怠惰」にあたるでしょう。そうです。私たちは一度聞いたことや知っている事柄についてあまり深く考えません。しかし、そもそも自分の知識は正確であったかどうか、同じことが別の状況下で別の意味を持ちはしないか、「新しい発見はないか」と問題意識を持って取り組む場合と、単なる作業と割り切って取り組む場合とでは、後程大きな差となって表れてくることでしょう。古代の哲学者ソクラテスが唱えた真理の探究における「**無知の知**」（自分は知らないことを自覚して知ろう＝学ぼうとすること。）もまた同じことなのです。学びのプロセスが学びの質を向上させます。

福南に入学してきた生徒の約60%は四年制大学への進学を希望している。しかも約40%が国公立大学を希望している。そのために必要なことは、まず第一に、生活のリズムである。緊張の中でスタートする新入生の高校生活から、一日も早く学校・学級・部活の中での自分の居場所を作ること。特に、「**学ぶ集団**」としての**学級の雰囲気**を創ること。人間は集団の中でこそ「**人間**」として成長していく。第二に、時間に流されないこと。例えば、高校生になって、毎日何時間もスマートフォンに浪費するようなことは決してしないでほしい。毎日の家庭学習の時間を確保することは、学ぶ者として当然の義務である。予習→授業→復習のサイクルを身につけること、その中でも復習がとても大切です。毎日勉強することが、ご飯を食べる・歯を磨く・顔を洗う等と同じ感覚になるように。第三に、**本をたくさん読むこと**。本を読むことは、本を書いた作者の思考の闘いを疑似体験することである。つまり、物事を自分の頭で考えることである。想像力を働かせることである。インターネット世界にある Copy and Paste では得られない体験である。そして、**毎日、新聞を読むこと**。君たちが生きている世界は様々な課題を抱えている。それが私たちの生活に大きな影響を与えている。その本質・背景を理解し、諸問題と向き合い、その構造を理解することから課題を解決するために知恵を出し合うことは現代社会に生きる私たちの責務だと言っても過言ではない。

福南は「学び」に前向きな君たちに必ず応えてくれる学校です。

## 2年生へ

高校の学習・生活で最も重要な時期が2年生である。部活動でも中核の学年となり、今まで以上の働きが求められる。そんな中で、「何をしたいか分からない」という声を聞く。ちょっと待ちなさい。1年前の入学直後の自分を思い出しなさい。高校に入学したら、部活動と勉強の両立を目標に、1日〇時間は予習・復習を中心に勉強頑張りますと希望を述べていませんか？そこでよく考えよ。「やる気」は何か目標が定まってから生まれるものではない。**何かをやり始めて、「面白い」と思う心が「やる気」を生み出す**。その「面白い」と思うことから派生して、目標は自分で見つけるしかない。他の者（例えば親から）に与えられた目標で生きる者は、「自由」ではない。早い段階で、自分のやりたいことを見つけ出し、目標を高く設定し、「学び」を追求して下さい。**家庭学習を確保することが、成功への一番の近道なのである**。

君たちが大学入学を迎える2021年入試から入試制度が大きく変わることはすでに承知のことだと思う。大学入学共通テスト・英語の資格を入試に利用、e-ポートフォリオ等、真新しいことだらけである。入試方式はすでに予告されているので、大学研究は早急に進めなければならない。国公立大学に限れば、入学定員の**約30%**がAO入試・公募推薦入試に割当てられる。大学入学共通テスト・小論文だけでなく、ディベート・集団討論・プレゼンテーション・講義を聴いてレポート提出・口頭試問等とその方法も多岐にわたる。高校時代の探究学習の成果もe-ポートフォリオを通じて求められる。これらの入試方法では、自らの考えに基づき論を立てることが求められる。思考力・判断力・論理的能力が重要な要素なのだが、知識の蓄積があってのことである。**だから2年生のうちに思考力・判断力のもとになる知識を積み上げ、自分のものにしていく努力が大切なのだ**。

## 3年生へ

いよいよ、君たちの出番である。新年度がスタートし、受験生モードに入った人、まだ入っていない人など、状況は様々だろう。いつから始めたにせよ、終わる時期が決まっているのが受験勉強。来年の今頃には自分の進路が決定している。そして、それが自分の願うものであるかどうかは、これからの10か月余りの自分自身の努力にかかっている。そこで、合格を勝ち取るための3つのマインド（ユメタンでおなじみの木村達哉先生からの）を紹介しよう。

### Mind 0. 受験勉強はとっくの昔に始まっている！

3年生になったら受験勉強頑張ろうと考えている人も多いと思いますが、実際にはみなさんはとっくの昔に受験勉強を始めています。なぜなら、大学入試で出題されるのは、高3で学ぶ内容ではないからです。その大半が中学校や高1・高2で教わったことから出題されます。ざっくり言えば、受験勉強というのは教室で教わったことの復習を意味しています。それなりに復習を積んできた人にとっては大したことでなくてもこれまでサボってきた人は中学レベルから復習することになるので、相当な覚悟と時間と労力が必要になります。

### Mind 1. 大学で何を学び、どんな自分になるのか

どんな大学・学部でどんな勉強をするのかを意識しないと、勉強のモチベーションは続きません。大学というところは就職のための予備校ではありません。興味のない学部や学科に進んでしまうと地獄が待っています。どれくらいのレベルの大学を目指すのか、どういう内容の学問を扱うのか、どのような自分を作り上げるのか。そういうことを意識せずしてモチベーションを維持することなど、不可能なのです。甲子園に出場したいから、ウィンターカップで勝ちたいから、日々の苦しい練習を続けることができるのです。あなたはどのような大学に入って、どんな研究をして、卒業したらどんな人生を生きたいですか？自分が何に向いているかなんてどうでもいいのです。大切なのは、何をしたいか、何をすれば人生を楽しめるのかを考えることなのです。

### Mind 2. 何が欠けていて、いつまでにそれを埋めるのか

受験勉強といえば、過去問などを買ってきて、ひたすら解く姿が一般的です。しかし、残念ながら、過去問をやったところで模擬試験の数字は上がりません。すでに述べた通り、習ったことの復習が必要なのです。英語はどのレベルの語彙力があってどこからサボってしまったのか、古典はどうなのか、世界史は、化学は、物理は・・・と科目ごとに分析し、自分に欠けている部分を書き出すことなどして可視化し、それを埋める作業を「受験勉強」と呼びます。受験勉強には期限がありますから、欠点を埋める作業をいつまでに終わらせるのが非常に重要になります。

### Mind 3. 「何時間勉強したか」より「何回くり返したか」

人間はそもそも忘れる生き物なのです。生死にかかわる情報でない限り、忘れてしまっても問題ないわけです。でも、英語の単語や日本史の知識などは、生死にかかわらないけども忘れたくありませんよね。では、どうすればよいか。方法は一つしかありません。何度も反復することです。同じことを何度も何度も何度も反復しているうちに、脳に刷り込まれていきます。九九を忘れようとしても忘れないのと同じです。我々の脳は、何度も入ってくる情報を「これは生死に関わるものかも」と認識することが脳科学で分かっています。この誤解を利用するのです。覚えたつもりになっても、しつこいぐらいに反復しましょう。暗記することが苦手という人がいますが、「受験勉強」と言えるほど復習をしていないのです。

ガンバレ、南校31期生。

(『蛭雪時代2019年4月号』より抜粋)

## 学ぶことを考えて下さい！（1年生）

まずは入学おめでとう。君たちの原点は、福島南高校で「学ぶ」ことを自ら選んだことです。最激戦の入試を勝ち抜いたのだから、そのことを卒業式を迎えるまで絶対忘れないように。この3年間で、様々なことを経験することになる。いろいろな出会いが待っている。その中で、今までの人生では感じたことのないような感動を味わうこともある。その時、今まで知らなかった新たな「自分」を発見することになる。それが未来の自分自身につながるだろう。そのために、「学び」をとことん追求してほしい。「学び」、あるいは「学ぶ」とはいったい何だろうか？ 入学にあたって、「学ぶとは誠実を胸に刻むこと」というフランスの詩人ルイ＝アラゴンの一節を贈ります。「知識を増やすこと」「技術を身に着けること」「資格を得ること」、これらはとても重要なことです。しかし、これらはあくまでも学びの結果です。学びにはプロセスがあり、これもまた重要なことなのです。「誠実」とはどんなことなのか？「知的な誠実さ」は学びの質と量を規定します。知的な誠実さの対極にあるのが「知的な傲慢さ」「知的な怠惰」にあたるでしょう。そうです。私たちは一度聞いたことや知っている事柄についてあまり深く考えません。しかし、そもそも自分の知識は正確

であったかどうか、同じことが別の状況下で別の意味を持ちはしないか、「新しい発見はないか」と問題意識を持って取り組む場合と、単なる作業と割り切って取り組む場合とでは、後程大きな差となって表れてくることでしょう。古代の哲学者ソクラテスが唱えた真理の探究における「無知の知」（自分は知らないことを自覚して知ろう＝学ぼうとすること。）もまた同じことなのです。学びのプロセスが学びの質を向上させます。

福南に入学してきた生徒の約60%は四年制大学への進学を希望している。しかも約40%が国公立大学を希望している。そのために必要なことは、まず第一に、生活のリズムである。緊張の中でスタートする新入生の高校生活から、一日も早く学校・学級・部活の中での自分の居場所を作ること。特に、「**学ぶ集団**」としての**学級の雰囲気**を創ること。人間は集団の中でこそ「人間」として成長していく。第二に、時間に流されないこと。例えば、高校生になって、毎日何時間もスマートフォンに浪費するようなことは決してしないでほしい。毎日の家庭学習の時間を確保することは、学ぶ者として当然の義務である。予習→授業→復習のサイクルを身につけること、その中でも復習がとても大切です。毎日勉強することが、ご飯を食べる・歯を磨く・顔を洗う等と同じ感覚になるように。第三に、**本をたくさん読むこと**。本を読むことは、本を書いた作者の思考の闘いを疑似体験することである。つまり、物事を自分の頭で考えることである。想像力を働かせることである。インターネット世界にある Copy and Paste では得られない体験である。そして、**毎日、新聞を読むこと**。君たちが生きている世界は様々な課題を抱えている。それが私たちの生活に大きな影響を与えている。その本質・背景を理解し、諸問題と向き合い、その構造を理解することから課題を解決するために知恵を出し合うことは現代社会に生きる私たちの責務だと言っても過言ではない。

福南は「学び」に前向きな君たちに必ず応えてくれる学校です。

## 2年生へ

高校の学習・生活で最も重要な時期が2年生である。部活動でも中核の学年となり、今まで以上の働きが求められる。そんな中で、「何をしたいか分からない」という声を聞く。ちょっと待ちなさい。1年前の入学直後の自分を思い出しなさい。高校に入学したら、部活動と勉強の両立を目標に、1日〇時間は予習・復習を中心に勉強頑張りますと希望を述べていませんか？そこでよく考えよ。「やる気」は何か目標が定まってから生まれるものではない。**何かをやり始めて、「面白い」と思う心が「やる気」を生み出す**。その「面白い」と思うことから派生して、目標は自分で見つけるしかない。他の者（例えば親から）に与えられた目標で生きる者は、「自由」ではない。早い段階で、自分のやりたいことを見つけ出し、目標を高く設定し、「学び」を追求して下さい。**家庭学習を確保することが、成功への一番の近道なのである**。

君たちが大学入学を迎える2021年入試から入試制度が大きく変わることはすでに承知のことだと思う。大学入学共通テスト・英語の資格を入試に利用、e-ポートフォリオ等、真新しいことだらけである。入試方式はすでに予告されているので、大学研究は早急に進めなければならない。国公立大学に限れば、入学定員の**約30%**がAO入試・公募推薦入試に割当てられる。大学入学共通テスト・小論文だけでなく、ディベート・集団討論・プレゼンテーション・講義を聴いてレポート提出・口頭試問等とその方法も多岐にわたる。高校時代の探究学習の成果もe-ポートフォリオを通じて求められる。これらの入試方法では、自らの考えに基づき論を立てることが求められる。思考力・判断力・論理的能力が重要な要素なのだが、知識の蓄積があってのことである。**だから2年生のうちに思考力・判断力のもとになる知識を積み上げ、自分のものにしていく努力が大切なのだ**。

## 3年生へ

いよいよ、君たちの出番である。新年度がスタートし、受験生モードに入った人、まだ入っていない人など、状況は様々だろう。いつから始めたにせよ、終わる時期が決まっているのが受験勉強。来年の今頃には自分の進路が決定している。そして、それが自分の願うものであるかどうかは、これからの10か月余りの自分自身の努力にかかっている。そこで、合格を勝ち取るための3つのマインド（ユメタンでおなじみの木村達哉先生からの）を紹介しよう。

### Mind 0. 受験勉強はとっくの昔に始まったいる！

3年生になったら受験勉強頑張ろうと考えている人も多いと思いますが、実際にはみなさんはとっくの昔に受験勉強を始めています。なぜなら、大学入試で出題されるのは、高3で学ぶ内容ではないからです。その大半が中学校や高1・高2で教わったことから出題されます。ざっくり言えば、受験勉強というのは教室で教わったことの復習を意味しています。それなりに復習を積んできた人にとっては大したことでなくてもこれまでサボってきた人は中学レベルから復習することになるので、相当な覚悟と時間と労力が必要になります。

### Mind 1. 大学で何を学び、どんな自分になるのか

どんな大学・学部でどんな勉強をするのかを意識しないと、勉強のモチベーションは続きません。大学というところは就職のための予備校ではありません。興味のない学部や学科に進んでしまうと地獄が待っています。どれくらいのレベルの大学を目指すのか、どういう内容の学問を扱うのか、どのような自分を作り上げるのか。そういうことを意識せずしてモチベーションを維持することなど、不可能なのです。甲子園に出場したいから、ウィンターカップで勝ちたいから、日々の苦しい練習を続けることができるのです。あなたはどのような大学に入って、どんな研究をして、卒業したらどんな人生を生きたいですか？自分が何に向いているかなんてどうでもいいのです。大切なのは、何をしたいか、何をすれば人生を楽しめるのかを考えることなのです。

### **Mind 2. 何が欠けていて、いつまでにそれを埋めるのか**

受験勉強といえば、過去問などを買ってきて、ひたすら解く姿が一般的です。しかし、残念ながら、過去問をやったところで模擬試験の数字は上がりません。すでに述べた通り、**習ったことの復習が必要なのです**。英語はどのレベルの語彙力があってどこからサボってしまったのか、古典はどうなのか、世界史は、化学は、物理は・・・と科目ごとに分析し、**自分に欠けている部分を書き出すことなどして可視化し、それを埋める作業を「受験勉強」と呼びます**。受験勉強には期限がありますから、欠点を埋める作業をいつまでに終わらせるのが非常に重要になります。

### **Mind 3. 「何時間勉強したか」より「何回くり返したか」**

人間はそもそも忘れる生き物なのです。生死にかかわる情報でない限り、忘れてしまっても問題ないわけです。でも、英語の単語や日本史の知識などは、生死にかかわらないけども忘れてくありませんよね。では、どうすればよいか。方法は一つしかありません。何度も反復することです。同じことを何度も何度も何度も何度も反復しているうちに、脳に刷り込まれていきます。九九を忘れようとしても忘れないのと同じです。我々の脳は、何度も入ってくる情報を「これは生死に関わるものかも」と認識することが脳科学で分かっています。この誤解を利用するのです。覚えたつもりになっても、しつこいぐらいに反復しましょう。暗記することが苦手という人がいますが、「受験勉強」と言えるほど復習をしていないのです。

ガンバレ、南校31期生。

(『蛍雪時代2019年4月号』より抜粋)